

鎌倉 パートナーズ

第81号 平成28年12月発行(季刊)

発行：鎌倉市市民活動センター

編集：特定非営利活動法人 鎌倉市市民活動センター運営会議(認定法人)

<http://npo-kama.sakura.ne.jp/ce/index.html>



(ハリス教会とポインセチア/ 西畑直樹)

リレートーク No. 1

こんな**市**民活動しています！

～鎌倉の魅力を伝えたい～



あさの まさき
浅野 雅樹

鎌倉市市民活動センター センター長
<http://npo-kama.sakura.ne.jp/ce/index.html>

明月荘・わかたけの会 代表
<https://ja-jp.facebook.com/meigetsusou/>

馬のいる街プロジェクト 副代表
<https://www.facebook.com/kamakura.horse.project/>

私は麻布大学在学中から鎌倉の古民家保全・里山整備の活動をしていました。現在は鎌倉の市民活動センターでセンター長を務める傍ら、北鎌倉の六国見山、台峰緑地の整備や扇湖山荘の保全活動に取り組んでいます。

初めはなんとなく知り合いに誘われて鎌倉に来ていたのですが、知れば知るほど「鎌倉」という街の魅力に取り込まれていき、今では仲間を誘って保全活動、街歩き、イベント参加等、鎌倉を満喫しています。

市民活動センターでは地域貢献に関わる様々な団体の中間支援をしており、会議室やコピーの利用等、ハード面の支援だけでなく、運営面でのお困りごとの相談、PC技術やチラシ作りについての講座の開催等、様々な形で少しでも活動の後押しができるような取り組みをしています。

鎌倉は、自然、文化、そして、そこに関わる人が複雑に絡み合うことで街全体を織りなしています。そんな鎌倉の魅力を皆様から学び、貴重な財産として後世に伝えていけるよう努力していきます。



今回のリレートークは「御成小講堂の保全活用をめざす会」の野村和代さんへバトンを渡します！

平成28年度 第2回 利用登録団体懇話会



お互いを知る、仲間をつくる

- 開催日時：10月29日（土）15:00～17:00（交流会 17:00～18:30）
- 開催場所：たまなわ交流センター 2階 第2会議室
- 参加団体：22団体（参加者 41名 運営会議正会員を含む）

懇話会では、あらかじめ参加者の皆さまから頂いた、市民活動で話したいテーマの中から6つを選択し、グループに分かれてディスカッションを行ないました。テーマごとに現状の活動上の課題を抽出、その解決策を考えた上で、解決策につながると思われるセンターへの提案と要望を発表していただきました。

<6つのテーマ>

- Aグループ 会員募集と活動の活性化
- Bグループ 他の団体との協力関係
- Cグループ 地域コミュニティー
- Dグループ 高齢者の活動支援
- Eグループ 鎌倉の自然環境
- Fグループ まちづくり

<センターへの主な提案と要望>

■地域交流に関する提案と要望

- ◇センターと自治会の交流をもっと活発にすると課題が把握できる。
- ◇社会福祉協議会などとの連携による地域団体の協力体制を強化する働きかけ。
- ◇地域活動の広報と支援、SNSなどITを使った地域情報の交換が出来ると良い。
- ◇コミュニティーカフェ的な地域で交流できるようなスペースが欲しい。

■協働の促進に関する提案と要望

- ◇高校・大学生に対して学校を通じてNPOの活動を学習体験する機会を呼びかける。
- ◇同じような活動をしている団体を繋ぐ橋渡し役、コーディネート役をお願いしたい。
- ◇活動資金の提供や活動のアドバイスをいただける専門家の派遣を望む。
- ◇鎌倉市の環境保全活動情報など、市民活動のポータルサイトを企画運営してもらいたい。



■講演会、セミナーなどの企画に関する提案と要望

- ◇かつての団塊セミナーのような啓発活動を継続して欲しい。
- ◇コミュニティーを指導できるリーダーづくり研修を企画して欲しい。
- ◇団体間の協力関係で成功した事例を学べる場を提供していただきたい。
- ◇今回のようなワークショップ形式の懇話会を頻繁に開催して欲しい。

■対行政に関する提案と要望

- ◇オンブズマン的な意見具申の役割を担ってもらいたい。
- ◇活動しやすい環境を確保するために行政とのパイプ役を担ってもらいたい。
- ◇市民活動の課題や要望等の声をまとめて行政に伝えて欲しい。

<まとめ>

今回は、第1回懇話会後のアンケートでご要望の強かった、テーマ別のグループディスカッションを中心に懇話会を構成しました。討議の時間は充分とれませんでした。懇話会の狙いである「お互いを知る、仲間をつくる」一助にはなったのではないのでしょうか。

次回以降の懇話会、あるいは個別のワークショップなどで関心のある団体を集めてテーマ毎の深掘りを進めていきたいと思っております。また、今回頂いたNPOセンターに対する多くのご提案やご要望については、皆さまのご協力を仰ぎながら、センタースタッフ一同真摯に取り組み、次回の懇話会で進捗を報告できるようにしたいと考えています。

(NPOセンター 西畑直樹)



《参加団体》

鎌倉演劇鑑賞会 鎌倉景観研究会 鎌倉評論 玉縄桜をひろめる会 AMDA鎌倉クラブ 腰越まちづくり市民懇話会 鎌倉歩け歩け協会
 玉縄歴史の会 鎌倉・緑地保全隊 図書館とともだち・鎌倉 鎌倉ユネスコ協会 鎌倉広町の森市民の会 明月荘わかたけの会
 北鎌倉・台峰緑地保全会 まちぢから協議会 鎌倉てらこや アムネスティ・インターナショナル鎌倉グループ 鎌倉生涯学習指導者の会
 子ども大学かまくら 県立フラワーセンター大船植物園の存続を求める会 グループホーム華花 鎌倉・ロボット・ものづくり研究会

次回、第3回利用登録団懇話会は、
平成29年1月21日(土)です。

時間：15時～17時
会場：たまなわ交流センター 2階 第2会議室

※なお、懇話会后、交流会をいたします。

9月30日(金) 「伝えるためのデザイン・レイアウト講座」

(有)lmm (1ミリ)の古谷 聡 (フルヤ ソウ) 氏を講師に迎え、NPOセンター主催「広報のためのレイアウト・デザイン講座」を開催しました。

当センターに登録されている市民団体の方々21名が参加し、古谷氏の話を中心に聞いていました。

本講座では、デザインをする上での「普遍的な知識を学ぶ」ことをテーマとし、レイアウト、写真、文字、色のセクションごとに分けて説明し、最終的にそれらを踏まえ一枚のチラシを作成するといった内容で行われました。また、説明の間に映画館、美術館や他のイベントのチラシを例に挙げ、解説をすることで、単に綺麗なチラシを作るためのテクニックを学ぶのではなく、適切な情報の伝え方、魅せ方を根本から考えさせられる講座内容でした。

その初心者にもわかりやすい説明は、受講された方にもとても好評で、講座終了後も何人もの方が古谷氏へ質問をしていました。参加された方からは、追加開催を期待する声も上がっています。(研修部会 浅野 雅樹)



主催：鎌倉市市民活動センター
協力：鎌倉市市民活動センター運営会議研修部会

講座のお知らせ

市民団体のためのSNS

日時：12月予定
会場：NPOセンター鎌倉
講師：浅野雅樹氏 (NPOセンターセンター長)

ホームページをヒットさせるためのSEO ～検索エンジン対策～

日時：平成29年1月中旬
会場：NPOセンター鎌倉
講師：西澤章氏 (運営会議正会員)

NPO運営の考え方

日時：平成29年1月29日(日)13:00～17:00
会場：NPOセンター大船
講師：土屋真美子氏 (アクションポート横浜)

市民活動経理の始め方(仮称)

日時：平成29年2月4日 13:00～17:00
会場：NPOセンター鎌倉
講師：後藤和幸氏、関塚通氏 (運営会議正会員)

伝えるためのデザイン・レイアウト講座 第2回

日時：平成29年3月初旬
会場：NPOセンター鎌倉
講師：古谷聡氏 ([有]1mm)

「広報かまくら」の「クローズアップ市民活動」
への掲載希望の団体 募集中！！

平成28年12月1日現在 **利用登録団体数：365団体**

※ 利用登録団体の登録内容(連絡先・代表者・活動内容等)
に変更があった場合は速やかにご連絡ください。

NPOセンター鎌倉

〒248-0012 鎌倉市御成町18-10
TEL：0467-23-3000 内線2655
TEL：0467-60-4555 (直通)
FAX：0467-61-3928
E-mail：npo@chive.ocn.ne.jp



NPOセンター大船

〒247-0061 鎌倉市台1-2-25
(たまなわ交流センター 1階)
TEL/FAX：0467-42-0345
E-mail：npo2@abelia.ocn.ne.jp

穏やかに晴れた11月3日の文化の日、恒例の「かまくらファンド審査会」がたまなわ交流センターで開催されました。

『かまくらファンド』とは行政に頼らず、企業や市民活動団体、そして市民のご寄附、更に運営会議の正会員がお祭りやイベントで集めた市民活動活性化への願いのこもった基金です。

鎌倉の市民活動団体は、数多くそして活発です。しかし、多くは「もう少し資金があれば・・・」という資金面での悩みを抱えています。

このファンドは2001年以降15年間で、延べ74団体に資金を助成し、団体が抱える課題解決への一助となっています。

今年度の助成総額は40万円。10団体の応募がありました。

当日は、各応募団体が参加者全員を前に熱のこもったプレゼンを行い、審査員の質疑応答を経て公開審査が行われました。

その結果、別記のとおり3団体が各10万円、2団体が各5万円と決まりました。

審査委員の方々が応募資料に目を通し十分な準備をしてくださったおかげで内容の濃いスムーズな議事進行が図られました。

また午前中には昨年度助成した7団体の報告もあり、長く充実した一日となりました。皆様にはお疲れになったことと存じます。

改めて応募の皆様、審査員の皆様、そして関係者の皆様に心よりのお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

(ファンド部会 岡田龍子)

参加団体の感想

発足して足かけ2年、試行錯誤の中で少しずつ形が整い始めております。



昨年頂いたファンドで子供たちがロボットなどのものづくりに使う基本的な道具を揃えることができました。今後はこれを活用し、5体を駆使し、手に汗して、新たな発見と喜びを感じながら科学・技術を体得できる環境をここ鎌倉に構築することを進めて参ります。

受領の際頂いた言葉「NPO鎌倉に参画している諸団体との知恵の共有」を是非実現させ一層の飛躍に励みたくよろしくお願い致します。

(鎌倉・ロボット・ものづくり研究会)

2年連続の助成をいただき誠にありがとうございました。刈払機2台の購入費に充当させていただきます。緑地に関する団体が集まり、鎌倉のみどり全体に対する整備の方向性などについて話し合えるシンポジウムの開催をお願いできればと思います。

(NPO法人 鎌倉みどりのレンジャー)

これまでの活動を見守ってくださり、大変感謝しております。障がい者むけの活動ですか？というご質問を受けました。生まれ持った個性を尊重しあえる社会は、全ての人に優しいと思います。

ファンドをはげみに、一緒におどりあう場を広げ、様々な人々がつながっていくよう活動します。

(あしおとでつながろう！プロジェクト)

« 審査員の皆様 »

阿部芳子氏（鎌倉友の会常任委員 公共担当）
 岩佐勝司氏（大船自治町内会連合会 会長）
 大津理津子氏（鎌倉検定市民の会 代表）
 長田克巳氏（イベントプロデューサー）
 奈須菊夫氏（鎌倉市市民活動部 次長）



ご寄附いただいた方々

- ・松本行政書士事務所様
- ・メディカルゆう様
- ・石巻市の菊地正剛様
- ・ファンド募金箱・玉手箱にご寄附いただいた多くの市民の方

プレゼンテーションの様子



(各団体、カのこもったプレゼンを行いました)

かまくらファンド助成団体	助成申請
鎌倉・ロボット・ものづくり研究会	青少年会館 わくわくクラブ等で使用する教材、工具類の購入
あしおとでつながろう！プロジェクト	イベントの会場費、付帯設備費、チラシ代等
ブックカーニバル実行委員会	スタンプラリーに使用するエコバックの製作費等
北鎌倉・台峰緑地保全会	散策路の整備に使用する道具類の調達
NPO 法人 鎌倉みどりのレンジャー	緑地の整備に供する刈払機、保護具の購入